

コード	10201
作成年度	25年度

基本事業評価表

基本事業名称	地域間交流の推進
--------	----------

総合計画の位置付け	
政策名称	にぎわいを創る地域交流の促進
施策名称	しまの交流ネットワークづくり

課コード	117	関係課名	
主管課名	観光物産課		

基本事業の目的

地域を越えた様々な交流を創出し、それに対応する受け入れ体制の整備を進め、国際的視野を持った人材の育成と国際交流の推進を図ることを目的とする。

基本事業の成果

成果指標名称 1	文化スポーツ交流者数	成果指標名称 2	修学旅行者数
成果指標の積算根拠	実績÷目標値	成果指標の積算根拠	実績÷目標値
目標達成年度	平成25年度	目標達成年度	平成25年度
目標達成数値	600人	目標達成数値	400人

年		度		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
成果指標 1	目標 A	単位	人			600	600	600
	実績 B		人			698	789	
	達成率 B/A		%			116.0	131.5	
成果指標 2	目標 A	単位	人			400	400	400
	実績 B		人			309	606	
	達成率 B/A		%			77.3	151.5	

1次評価	現状	文化スポーツ交流事業では上五島をしまのキャンパスに見立て、島外からの学生や団体が数多く来島している。誘客促進に向けた新たな補助制度を創設したことが功を奏し、観光客の増加につながった。また、観光物産協会と連携して、修学旅行の誘致を推進し交流人口の増大を図っている。
	課題	文化スポーツ交流、修学旅行を更に増やすためには、教育委員会や観光物産協会との連携と充実した受け入れ体制づくり、更には地域資源を活かした様々な体験型メニューの造成が必要である。その他、国際交流分野では、外国人観光客誘致の補助制度を創設し、韓国からの来島者が増加傾向にある。今後は地元住民との相互交流を図る仕組みづくりが必要である。
	改善	教育委員会や観光物産協会と連動し、地元受け入れ体制を構築するとともに、修学旅行や文化スポーツ交流の促進を図らなければならない。また、国際的視野を持った人材の育成を図る必要がある。

2次評価	地域を越えた様々な交流を創出し、それに対応する受入体制の整備・充実に努めるとともに、国際交流の意義や必要性など住民の理解と認識を深めていき国際的視野を持った人材の育成に取り組むこと。
------	---

3次評価 住民等の意見	
----------------	--

町の対応	
------	--

※3次評価は、住民等の意見があった場合にのみ、再度公表するものとする。

◆基本事業を構成する評価対象事業◆

番号	評価コード	評価対象事業名称	担当課	平成24年度 直接事業費	評価の方向性
1	102010101	しまのキャンパス体験補助事業	観光物産課	7,636千円	(途中) 事業内容を見直して継続
2	102010102	しま共通地域通貨事業	観光物産課	3,006千円	(途中) このまま事業を継続
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
基本事業を構成する評価対象事業の合計事業費				10,642千円	